

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	リユース食器レンタル事業		
団体名	一般社団法人リユース食器ひなげし		
事業費	130,183円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的 地球温暖の一因となっているゴミの見直しの為、数多くのイベント等から発生する大量の使い捨て食器の“大量消費・大量廃棄”の生活を見直し、使い捨て食器に変えてリユース食器（洗って何度でも使える食器）を使うことにより“ゴミを出さない・ゴミを燃やさない・CO2を削減する”循環型社会の実現を目指します。</p>
	<p>内容 八王子市内の各種イベントを始め、隣接都市のイベント等にも積極的に働きかけ実際にリユース食器を使い体験をして頂き使い良さと利便性を認識して頂く。 リユース食器の認知度を高める為にポスター・食器の展示、チラシの配布をしてリユース食器の使いやすさとその仕組みを知ってもらう。“借りる・使う・返す”</p>

事業の活動実績	<p>4月26・27日 フラワーフェスティバル柚木 リユースカップ200個 デポジット付きでジュース販売 ポスター、食器展示、チラシ配布</p>
	<p>5月6日 みんなちがってみんないい リユース食器レンタル（各種取り混ぜ）1690個 ポーチ、石けん販売 ポスター・食器展示、チラシ配布</p>
	<p>6月7日 八王子市環境フェスティバル / 雨のため中止</p>



フラワーフェスティバル柚木



環境フェスティバル松茸デザインをのぞ

様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>事業の成果 一般にはまだ認知度の低いリユース食器を使用してもらう事によって、見たり、聞いたりだけでは分からない食器の丈夫さ、耐熱温度等を感じて貰い良さを解ってもらえました。また、使用して頂く事によりリユース食器の利用の仕方を認識して頂きました。 デPOSIT (払い戻し) への不安は、実際の体験で使用する方の抵抗感は無く逆にお金の戻って来る事の喜びを楽しんでいる様子でした。</p> <p>効果 参加したイベントを含め広報活動の結果8月2日・3日の八王子祭り実行委員会へリユース食器1250個を貸し出しました。11月2日北野あつたかホールでのパネル展示等のお声掛けを頂きました。 リユース食器の認知度の広がりを感じる事が実感出来ました。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 環境フェスティバルが中止になった為
	その他、評価すべき点等	無し

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>今後の予定 リユース食器の啓発活動と同時にリユース食器のレンタル事業の拡販を行い近い将来には障がい者支援の為の事業所のオープンを目指しております。</p>
---------	--

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子市の子供達と外国人との交流を通して子供達の健全な育成を支援する		
団体名	虹の橋		
事業費	137,508円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>小学校に英語教育が導入されたが、まだまだ異文化に触れる機会が少ない。一方市内には9,450人もの外国人が生活しており、子供達と外国人が交流する場を設けることで、子供達の視野の拡大と健全な育成を支援し、2020年の東京オリンピックに臨みたい。</p> <p>本団体は設立間もない団体だがこの活動を通してPRを図る。</p>
	<p>内容</p> <p>八王子市の子供達が外国の人達とゲームやスポーツ、料理、音楽等を通して交流することにより異文化に触れて、外国の文化に興味や関心を持ち、視野を広げて子供達がより健全な発育が出来るよう、平成25年度と同様に学童保育所や小学校を訪問し「交流会」をしたりすることを支援する。</p>

事業の活動実績	4月 年間計画と予算計画・クリエイト会場申込みや学童保育所等との交渉
	5月 (No1) 「英国のTea timeを楽しもう」、5/24(土) クリエイトホール ポスター制作 12名参加
	6月 (No2) 第2小学校内八木町学童保育所訪問、6/11 手品の方とスタッフの計5人で訪問 約60名参加
	7月 イベント会場予約、講師依頼、「8/1 チャイルドの交流」チラシ配布
	8月 (No3) 「外国人の子供と日本の子供の交流会」手品の方・英会話指導者 約30名参加
	9月 イベント会場予約と講師依頼 ポスター作成
	10月 (No4) 「ジャックマン秋山 望のクッキングと英会話」 10/25 オリジナルキッシュとミニサラダづくり 19名参加
	11月 (No5) 「外国の言葉でゲームを楽しもう」英会話指導者・お手玉の方 24名参加
	12月 年内の活動のまとめと反省、会計のまとめと反省 総まとめ(記録の写真・DVD・お礼状等) 次年度への計画作り

虹の橋 クッキング

虹の橋 チャイルド



事業の成果・効果	<p>5/24 (土) ジャックマン秋山 望のクッキングと英会話、5月は「おやつ作り」をし「Tea timeの時、英語で自己紹介」したり、レシピを聞いたりといへん楽しい会となり、また是非開催して欲しいと云う参加者からの声をもらい嬉しかった。</p> <p>10/25 (土) は「オリジナルキッシュとミニサラダ」を作り、ジャックマンさんは説明からAll Englishで話をし、参加した子供達からは少し難しかったと云う反省が出たが、大人たちは大喜びで次回も同様に実施して欲しいとのコメント(アンケート)が多く寄せられた。</p> <p>6/11 (水) 八木町学童保育所訪問では手品の方、スタッフを含む5名で訪問(外国人2名は急用で欠席)。各国のあいさつを当てるゲームをし「good morning」は英米国語と云う事は殆どの子供たちが知っていた。他の国のあいさつについても触れて、皆で英語の歌を歌った。</p> <p>子供達や先生方から「今度はいつ来るの?」など嬉しい言葉も頂いた。</p> <p>8/1 (金) 学童保育所に入所して居ない子供達にも楽しい手品を見たり、外国の友達との交流が出来る会を「虹の橋 Child」とした。外国人(オーストラリア、ネパール、ミャンマー、中国)の友達が集まり、総勢38名が手品を見たりお互いにカタコトや身振りなどで交流していた。</p> <p>英語での会話に日本の子供達も触れてニコニコして居た。</p> <p>この様な機会は次年度も続けて実施するニーズが高いと感じた。</p> <p>11/21 (金) 「外国の言葉でゲームを楽しもう」ではお手玉の方々にやり方を教えてもらい、英語の歌に合わせてお手玉をやる事が出来楽しかったと子供達に喜ばれた。</p> <p>各会とも市民の方々に喜ばれたので私達も大変嬉しく、次年度も続けて頑張りたいと思います。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	折り紙、お手玉、手品等のボランティアの方々と連絡し合えるようになった事は大変有難い事だと思った。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>※ 学童保育所訪問については、お手玉会、手品の会の方々等と一緒に訪問する形式も良いと思いました。</p> <p>※ また市民の方々もオリンピックに向けて英会話をする場所や勉強する場を求めている方が多いことが分かったので、次年度もクッキング後に英会話の出来る会を続けてやりたいと思います。</p> <p>※ 「虹の橋チャイルド」は外国の子供達と日本の子供達がお互いを理解し合えて、たいへん有意義な会となったので次年度も続けたいと思います。</p> <p>※ クッキング教室、虹の橋チャイルドの参加費を増額し「虹の橋」の運営費としたい。</p>
---------	---

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	たき坊楽市広報活動		
団体名	たき坊楽市		
事業費	177,213円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的
	八王子のご当地キャラクターたき坊を運営している団体名を改名しました。それを機に、配布物などを一新し、地域振興の活動をしているたき坊の存在を春から夏に向けて集中して知っていただけるような広報活動し、結果として八王子のブランド価値が上がるようにしたく、企画しました。
事業の目的・内容	内容
	八王子のご当地キャラクターたき坊が出演するイベント・行事などを通じて街の人々やファンの方々に八王子とキャラクターを紹介する配布物や展示ものを制作して、八王子への注目、親しみ、郷土愛などを育みたい。

事業の活動実績	4月4日	ダスキン勉強会	7月26日	ヨジロックフェスティバル (秋田市エリアなかいち)
	4月26日	よみうりランド	8月16日	打越町まつり
	4月27日	真田幸丸フェス(長野県上田市)	8月23日	谷野町納涼会
	4月29日	道の駅八王子滝山新商品 PR	8月24日	東京八王子トレインズ署名活動
	5月2日	グッドモーニングアメリカ 八王子市役所表敬訪問ゲスト	8月30日	MUSIC BASKET コンサート
	5月3日	北條五代祭り(小田原城)	8月30日	フラチナリズムライブ
	5月5日	高尾の湯ふっろぴい	8月31日	東京八王子トレインズ署名活動
	5月5日	フラチナリズムライブ	9月7日	徳島とっくりん 関東ファンミーティング
	5月6日	第10回古本まつり	9月12日	デイサービス中野
	5月10日	エコカーフェスタ	9月13日	村内ファニチャーアクセス チャリティーセール
	5月12日	テレビ撮影(晴海運動場)		
	5月24日	まんぱくライブ(昭和記念公園)		
	5月25日	CD発売インスタライブ (イトーヨーカ堂八王子店)		
	5月31日	ご当地キャラクター フェスティバル in すみだ		
	6月14日	WNCプロレスの八王子大会		
	6月22日	ペッカーリーライブ(飯能市民会館)		
	6月28日	宮城県石巻市復興イベント		
	6月29日	宮城県南三陸町復興イベント		



事業の成果・効果	<p>今年も予想を超える多くの出演依頼をいただき、スタッフ一同ありがたく思っております。また、活動自体も四年目を迎えてキャラクターが出演することを楽しみにしているファンも多く見受けられるようになりました。</p> <p>今年の大きな動きとして、以前から応援していた方々の活躍・成果が上げられます。発案・発足から関わってきた新しいご当地グルメ、八王子ナポリタンは市内 50 店舗以上のお店でメニューとなり、テレビ番組に特集を組まれたり、秋にはコンビニ商品までなりました。プロ参入のために署名活動もお手伝いした東京八王子トレインズは条件をクリアし、来年のバスケットボールリーグ参入と八王子初のプロチーム誕生となりました。地元の飲食店で流しをやっていた音楽バンド、フラチナリズムと一緒に地域のお祭りやイベントに出演する中で八王子のファンを増やし、メジャーデビューを決め、オリンパスホールの公演などにたき坊をゲストで呼んでくれたりと、互恵関係を築いています。すでに活躍中のグッドモーニングアメリカというバンドは、コンサートに必ずたき坊のぬいぐるみを飾ってくださり、ファンの人達には大きな話題となっており、郷土愛の象徴ともなっています。</p> <p>さらに、キャラクターが地域に何が出来るかということを考えて始まった地域コラボ缶バッジ。これは地元のお店にたき坊を合わせてデザインし、缶バッジを制作。このシリーズを集めるファンが市内を周って話題になり、デザインに親しみがでてお店のお客さんにも好評いただいたり、お店同士での缶バッジ交換などの交流まで生まれております。</p> <p>最後に CD デビューまで果たしたキャラクターとなって、全国のご当地キャラクターファンの皆様にも多く知られ、運営されている自治体や商店街などとの交流も大きな財産となっております。遠征は負担の部分も大きいのですが、外に出て活躍することでうちのキャラクターを通じ、八王子のことも興味を抱き、訪れてもらっています。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p> <p>予想以上に八王子市内外からのイベント出演などがあり、変更が大きく出ました。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p> <p>会の活動を越えて、良くも悪くもキャラクターを通じて八王子のPR活動となってしまう為</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>イベント出演することは主催者側が決めることなので、当初の予定通りとはなりません。また、10月より全国のキャラクター達が人気争いをする、ゆるキャラグランプリが始まることもあり、大きなPRチャンスでもあり、計画書の8月までを9月まで延長させていただきました。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>会名を変えることに伴い、組織の見直しも行いました。人手不足になるリスクは高まりましたが、情報の秘密保持や質は高まりました。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今まで出演してきたイベントを客観的に見直していきますと、キャラクターが行かなくてもよかったと、結果としてそう思えるイベントも少なくありません。また、こちらとしてはできる限り出ていくことが良いことだと思いましたが、それが当たり前だという主催者側の感覚が、希少価値やキャラクターの魅力をおとしめ、価値が下がる結果となることもあります。</p> <p>出演回数は減らしても、キャラクターの価値を高めることで、呼ぶ側にもきちんとした体制やお礼を考えていただき、運営負担も減って魅力も増していく。イベントにも人があふれて効果的となる。そのようなプラスの相乗効果を展開していきたいと考えています。</p> <p>そしていつか、最大の恩返しとして八王子において全国のご当地キャラクター達が集まるイベントを主催したいと思います。</p>
---------	---

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	『聞き書き集—八王子に生きる女たち』(仮題)の刊行		
団体名	八王子女性史サークル		
事業費	1,217,192円	補助金額	606,000円

事業の目的・内容	<p>目的 八王子女性史サークルは、これまで八王子の女性たちから聞きとりをして各年度ごとに5冊の冊子にまとめてきた。この貴重な証言が散逸しないように一冊の本にして、目を向けられることが少なかった女性の歴史を、残し伝えていきたいと事業を企画した。今までの聞き書き原稿をテーマごとにまとめることで、それぞれの「聞き書き」が互いに補いあうようになること、あわせて個々の証言をテーマに沿って再構成することで目的を達成できると考えた。また「聞き書き」だけでなく関連する資料も付け加えて、女性が置かれていた歴史的・社会的背景を知り、八王子地域女性史の理解が深められることを目的として取り組んだ。</p>
	<p>内容 『聞き書きで綴る 八王子の女性史』の刊行 八王子女性史サークル編集・発行、A4版、192ページ、500部、2015年3月31日発行 ・「聞き書き」42本・・・明治から昭和にかけて生まれた52人の証言を、織物、農林業、商業、職業、地域活動、文化・暮らし、戦争の各分野にかけて編集した。 ・「聞き書き」の理解を深めるために、解説、年表、コラム、資料、口絵写真、用語解説等についても調査研究し掲載した。</p>

事業の活動実績	<p>・4～12月：毎月(土曜日)2回例会開催 1～3月：毎週(土曜日)例会開催 ・その他 作成委員会、担当者会、学習会など随時開催 ・刊行にいたるまでの主な活動</p>
	<p>①『聞き書きで綴る 八王子の女性史』の全体構成決定 ②「聞き書き」本文の作成(2014年4月～2015年3月) ・話者の掲載許可を得る ・掲載原稿の検討と作成 ・表記の統一 ・各原稿の写真選択 ・タイトル、小見出しの再検討 ・ルビ、注釈の検討 ・入稿、校正 ③年表、各種の資料、コラム、用語解説などを調査、検討し原稿を作成 ・入稿、校正(5月～3月) ④解説、口絵写真、表紙、本のタイトル、凡例、参考文献の検討と作成 ・写真掲載許可 ・入稿、校正(12月～3月) ⑤「刊行によせて」原稿依頼、はじめに、あとがき、目次、地図などの検討と作成 ・入稿、校正(2015年1月～3月) ⑦チラシ作成、話者・関係者・関係機関へ本の配布(3月)</p>

事業の様子または成果がわかる写真①



事業の様子または成果がわかる写真②



事業の成果・効果	<p>* 市民企画事業の補助金交付により、500部印刷することができた。そのため、話者をはじめ各々専門の研究者、協力者、関係機関など、多くに贈呈することができた。また販売活動にも力を注いだことで、多くの市民の方々にも関心を持たれ購読してもらえている。 (主な寄贈先・・・八王子図書館、生涯学習センター、男女共同参画センター、郷土資料館、市史編纂室、市民活動支援センター、市民センター、市外公的機関など)</p> <p>* 多くの方から、感想、ご意見、励ましをいただき反響が大きい。寄せられた一言から・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き書きで綴られた女性の生き方、来し方に改めて感銘した。 ・資料、年表、用語解説など付け加えた新たな視点での編集で地域の貴重な資料になった。 ・八王子女性史に関する刊行物は少なく、本書の刊行は意義深い。 ・本の中に出てくる人は知人など知っている人が多くとても懐かしい。 ・多くの人に紹介したり、購読を薦めたい。 ・自分の子どもたちにも本を読んでもらいたい。 ・亡くなった母の話をもっと聞いておけばよかった。 ・本書の刊行を契機に懇談会など開き、街づくりなど語り合いたい。 ・今後もなお一層の研究と出版を期待する。 ・八王子に住んでいても知らないことが多い。本書によって多くのことを知った。 ・女性史サークルの周到な計画、まとめる力量や組織力があってできた本である。など <p>* 本書の刊行に取り組むことにより、八王子の女性史研究を多少でも深めることができた。 * 地域に対する関心や愛着が増し、社会づくり、街づくりに関わるエネルギーを得た。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子女性史サークルとして困難を乗り越えて協力して取り組むことで大きな力になった ・八王子の歴史を学ぶ機会になり更に深めていきたいとの意欲を得た ・それぞれの時代に生きてこられた話者の生き方と重ね自身の生き方を考えることができた

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・この本を多くの人に読んでもらえるようにいろいろな機会をとらえ、チラシ配布、「広報はちおうじ」、新聞掲載などで宣伝して情報提供していく ・市内の中学、高校、大学図書館(室)や、書店にも置いてもらえるよう働きかけていく ・学習会、講演会、話者を囲む会などを企画して、八王子女性史の学びを深め、それぞれの生き方を考える場をつくっていく
---------	---

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	第三回シニアが元気になるフェスティバル		
団体名	八王子高齢者活動コーディネーター会		
事業費	181,518円	補助金額	87,000円

事業の目的・内容	<p>目的 弊会の目的シニアを活性化する活動が、広くシニア層はもちろん、広い世代に活動を知ってもらい、会の知名度向上と会員増そして事業の拡大を計ることを目的としてこの事業を開催する。</p>
	<p>内容 平成26年11月30日に、当該イベントを実施しました。その内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員長の趣旨等の説明 ・来賓の祝辞として8名の来賓を代表して「村松副市長」にご挨拶をいただきました。 ・特別講演として松本すみ子氏「シニア活性化」全国の事例 ・市内シニアの元気団体の紹介・展示等を行った。

事業の活動実績	<p>3月「採択」通知をいただいてから、「第三回シニアが元気になるフェスティバル」の準備に入りました。</p> <p>4月の弊会の総会で、実行委員会設立、本格準備に入った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下、実行委員会は、月一回開催。全体の方針と進行の確認を行った。 ・特別講演の講師は、全国的にシニアの活性化の研究家として有名な松本すみ子氏に依頼した。昨年までの「笑い」の講演者から一転、事例と実績のある、経験談中心のお話をしていただいた。 ・集客のために、「朝日新聞多摩マリオン欄」、ミニコミ紙「ショッパー紙」への掲載を依頼した。 ・活動団体紹介に「論語を楽しく学ぶ会」、「お父さんお帰りなさいパーティ実行委員会」、「八王子センター元気」、「八王子消費生活センター」と「八コー会演劇教室」、「シニアが教える小中学生の教育教室」を新たに加えた。 ・当日(11月30日)は、村松副市長のご祝辞を頂戴した。94名参加と盛況であった。 ・その後、アンケート等からの演劇教室、論語を楽しく学ぶ会への入会などの事後効果を生んでいる。
---------	--



事業の成果・効果	<p>事業は、「シニアの活性化」を進めている団体として、広く市民に対する知名度向上と、会の実施内容を知ってもらうことを目的として、第三回シニアが元気になるフェスティバルを行った。事前のフェスティバル紹介のPRが有効であり、地域のミニコミ紙「ショッパー」にイベント紹介のことを掲載してもらえたのをはじめ、朝日新聞の多摩マリオン欄の「イベント紹介」に掲載してもらえ、その成果により、94名の集客ができた。当日の内容は、特別講演「シニアの活性化全国の事例」で権威者である、松本すみ子氏にシニアの元気さ、活性化の重要性に対して、強調してもらえ、その後の元気なシニア団体の紹介へとつなげていくことができた。当初の目的である、「実施していることの有意義性を知っていただくこと」と「会の知名度を向上させること」の成果は、当日参加者のアンケート結果から、十分に達成できた。具体的には、市民に、「シニアの活性化」を「新しい方向として、『学習塾』などの新規事業」を立ち上げること、それらを通じて高齢社会白書にある『シニアの尊厳ある自立』を具体例を以って示すことができたこと。そして、そのこともあり、演劇教室に4名。論語を楽しく学ぶ会への入会3名があった。来年も、ぜひこのイベントは継続していく必要があることを痛感している。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 <input checked="" type="radio"/> ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>今回は、新規に「自分史研究会」の紹介ができ、これまでの「八コー会演劇教室」、「シニアが教える小中学生の教育教室」などへの勧誘もでき大変有意義であった。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>シニアは、65歳で会社を辞めても、元気で、経験も知識もある。力のあるシニアを地域のために生かしていくことは、非常に重要である。そのために、アイデアをだしたり、事業を新設することは重要なことだと思う。このイベントを通じて、多くの市民に知らせることができ大変効果が上っている。シニアが教える小中学生の教育教室に続く事業を見つけていきたい。そして、今の60代、50代の人に、「明るい定年後のシニアライフ：稼げるシニアライフ」の事例を提供していきたい。</p>
---------	---

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	屋内譲渡会での猫譲渡と相談会 (新しい試み 保護猫カフェ)		
団体名	八王子猫のおうち探しの会		
事業費	734,200円	補助金額	344,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>従来は屋外での譲渡会を開催していたが天候に左右され、ご相談も落ち着いて受けられず、猫も気温の変化や騒音でストレスを感じていた。「保護猫カフェ」と呼ばれる屋内型の譲渡会場は都内を中心に全国に広がっており、猫譲渡の場として活用されている。当会もこの方式を取り入れ、保護から譲渡までの新しいシステムとして屋内型譲渡会を開催する。</p> <p>これにより、殺処分や外で暮らす猫によるトラブルが削減されることを目的とする。</p>
	<p>内容</p> <p>屋内型の常設会場で、主に八王子市内で保護した猫の新しい飼い主探しを効果的に実施する。市民からの猫保護のご相談対応と飼い主探しの場を提供し、外で暮らす飼い主のいない猫の地域猫化やトラブルの相談</p>

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～3月末 譲渡会開催：計113回 計画外「八王子古本まつり 犬猫里親相談所」開設2回 ・4月～3月末 市民からの相談対応 めじろ台1丁目多頭崩壊、東浅川多頭崩壊、元八王子飼育放棄河川敷遺棄猫保護、散田町地域猫対応、中町地域猫対応等 ・4月～3月末 八王子市保健所紹介での市民からの相談対応 高齢者からの保護依頼、飼い主のいない猫の手術のための捕獲等 ・4月～3月末 月刊「はちねこ！かわら版」作成：市内66施設に配布 ・4月 ホームページ作成：各メンバーのblogとリンク ・4月、3月 猫毛を用いたフェルト教室の開催：2回 ・2月 新商品の開発 ・3月 ペットシッターによるお手入れ教室：1回 計画外：「八王子市民による地域猫セミナー」の開催（於学園都市センター） 市民活動支援センター主催「猫のいる暮らしはじめられます！」 お父さんお帰りなさいパーティー参加
---------	---



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>・譲渡・相談事業の成果</p> <p>ホームページやはちねこ！かわら版配布の効果により認知度が上がり、相談や譲渡希望者が増えた結果として、平成26年度に当会に登録された猫の集計は 保護猫総数：合計253頭 譲渡頭数：合計200頭（3月末に正式譲渡となった頭数・保護した市民が引き取った頭数を含む） 未譲渡の猫53頭のうち33頭は既に譲渡先に移動し4月以降の正式譲渡となる。 計233頭について譲渡終了及び譲渡予定となった。</p> <p>屋外の譲渡会ではなかなか譲渡先が決まりにくい成猫やハンディキャップを持つ猫も、屋内会場でフリーにして触れ合うことにより譲渡先が決定した 今までノラ猫が生んだ仔猫をどう対処したらいいかわからず、埋めたり、浅川に流したり保健所に引き渡して殺処分していた人達に「保護して譲渡先を探す」という保護活動に参加してもらうことができた。</p> <p>八王子市が手術の助成金対象としている「飼い主のいない猫」の手術の相談も増え、会員の係った手術のための捕獲頭数は320頭となり、一代限りの地域猫として市民に管理されて暮らす猫も増えて、譲渡事業や相談対応により殺処分される猫を減らすことができた。</p> <p>・ホームページやはちねこ！かわら版による広報効果 来場者数1597名（リピーター含む）、サポーター数382名 インターネットと紙媒体との相乗効果で幅広い世代に活動を知ってもらえ、今後の継続した活動の支えとなった。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 保護の相談や譲渡会への参加等、猫の保護頭数が予想外に増えた。そのため、主に広報予算の一部を猫用の備品購入に変更した。
	その他、評価すべき点等	従来の活動は「広報活動」に於いて組織的に活動する手法を持たなかった。補助金をホームページの開設やかわら版の広報活動費に充てることにより、市民の方に認知される機会が増えた。協働推進課や市民活動支援センターのアドバイスを受け、他団体との交流も広がり、今後の活動に大いに役立てることができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>全国に広がる動物保護・動物愛護・地域猫活動の精神に則り、殺処分の削減、動物虐待及び猫トラブルの問題に取り組むために、八王子市保健所が設置する動物愛護推進協議会に参加する。</p> <p>有識者による「地域猫セミナー」を開催し、地域猫活動を広く八王子市民に知ってもらい活動に参加するメンバーを増やす。</p> <p>保護活動に伴って発生する膨大な医療費や保護費用捻出のため、動物を飼育していない市民にも興味を持ってもらえる商品を販売する。40</p>
---------	---

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子を互いに知ろうプロジェクト1 ~八王子市東部地域~		
団体名	楽しも!堀之内実行委員会		
事業費	313,797円	補助金額	152,000円

事業の目的・内容	<p>目的 八王子市が中核市を目指しているこの時期に各地域の新旧住民の相互理解を深め交流を密にして、ゆくゆくは各地域ごとの交流を進めることの意義はだれしもが認めるであろう。</p> <p>八王子市の東部地域は民俗的価値資源を多く持つ旧由木村地域と多摩ニュータウンが並立する特異な個性をもった地域である。今年度はまずこの東部地域について、地域のプロモーションビデオ作りといった手法を用い、まず子どもたちから新旧地域それぞれに関心を持ってもらう事を目的とした。</p>
	<p>内容 チラシや GAYA.TV を通じて一般市民の方々から八王子東部地域の民俗、歴史、建物、等の投稿写真を広く募集することにより、地域再発見を促す。また、同地域には優れた郷土史資料が多く作成されているが、いずれも子どもたちの興味を引きづらいという難点があるため、子ども達が興味を持ってくれるようなストーリー仕立ての映像を作成し、市内小中学校に配布するとともに、地域での無料上映会を実施する。</p>

事業の活動実績	<p>H26年 4月 全体構成など打ち合わせ、堀之内まつり取材 4月 オープニング映像撮影 6月 投稿写真募集開始 9月 堀之内南八幡大祭取材 9月 養蚕農家取材 10月 ストーリー検討、台本作成 12月 絹の道資料館撮影、公園での撮影 2月 録音、音楽、編集作業、 3月 DVD完成試写会、DVDコピー作業</p> <p>通年 構成打合せとともに地域写真、動画撮影 GAYA.TVによる写真投稿依頼、制作過程報告、広報宣伝等。</p>
	<p>採択に当たって町会・自治会等の地域における他の団体との連携を図ること、という要望が付されたこともあり、また地域との連携なしには成立しえない事業であったため、まず堀之内駅近くで実施された堀之内まつりの開催時に町会、商業会などに取材協力依頼を行ったのをはじめ、養蚕農家等のご紹介もいただき、取材を行った。</p> <p>成果品の活用方法については、ただ単にDVDの制作に終わることなく、GAYA.TVでの紹介やYouTubeへのUPなどにより、より多くの方に気軽に見ていただける環境を作った。</p>



41



事業の成果・効果	<p>当初、投稿写真をもとにスライドショー形式で地域の資源を紹介するDVDを制作するつもりであったが、見る人にとってより興味を引くための構成を巡ってディスカッションを重ねた。さまざま検討の過程で現役映画監督の協力を得ることができて、南大沢に住む小学生がニュータウンが出来る前の東部地域に関心を持ち、ゆかりの人や場所を訪ね歩くというストーリー仕立てのプロモーションビデオ「100年後の君へ」が完成した。子どもにも大人にも親しみやすい作品が完成したと自負している。</p> <p>取材には市発行の「新八王子市史民俗調査報告書第2集 八王子市東部地域由木の民俗」に昭和50年代(多摩ニュータウン造成直前)の写真を提供されていた堀口進さん(東中野在住)に大変なご協力をいただいた。また地域の八幡宮や、養蚕農家、絹の道資料館などにも取材にご協力をいただいた。</p> <p>今年度は丁度由木村50年の節目に当たるという事で、由木地域でも新旧住民の交流を見直す機運が高まっている。取材依頼、協賛依頼の中で、当事業の目的(東部地域の再発見、新旧住民の交流など)を伝えると新旧住民を問わず多くの方々がそれに賛同して下さったことは、当事業が単にDVD制作にとどまらず、多くの方に地域について再考するきっかけともなったのではないかと自負している。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 思いのほか大勢の方が関わって下さることになり、謝礼・交通費など全体的に人件費の支出が増えたため、DVD制作にかかる費用を可能な限り自前で作成し経費を抑えた。計画にはなかった新聞図書は、参考図書を購入したため。
	その他、評価すべき点等	元々映像、音楽などにプロとして関わるメンバーが多いことから実現した企画であった。しかし予想外の効果としてメンバー自身が、改めて東部地域のおもしろさや、地域にかかわる活動をする事の重要性を痛感したという声上がり、今後も活動を継続していく意思確認が出来た。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>地域が広く、またメンバーそれぞれが本業を持ちながらの制作になったため、なかなか日程調整が難しく、取材できた地域が限定されてしまった事は否めない。</p> <p>しかし、来年度以降もこの事業を自主的に継続し、当団体が毎月配信しているGAYA.TVを通じて今回取材できなかった各町内、施設などの取材を重ねて資料を積み重ね、いずれ東部地域のプロモーションビデオの完成版を作成したいと考えている。</p>
---------	---

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域多世代交流広場お茶の間「民」事業		
団体名	特定非営利活動法人地域医療・福祉の明日を考える会		
事業費	1,061,040円	補助金額	500,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>市の南西部に位置する館ヶ丘は、一人住まいの高齢者や高齢者のみの家族、孤立した子育てをしている家族など、諸問題を抱える住民が多い地域であり、様々な支援の手が必要とされている。当法人の人材資源、ネットワークを利用して、地域医療・福祉の支援を行うことを目的としてこの事業を企画した。</p>
	<p>内容</p> <p>八王子市館ヶ丘地域の住人を対象として、館ヶ丘クリニック施設の休館日を利用して多世代(0歳~100歳以上)の交流広場を週2回(木曜日・日曜日)開設し、地域コミュニティづくりを行うとともに、認知症等の予防・早期発見や子育て不安の相談など、地域医療・福祉に関する事業を行う。</p>

事業の活動実績	・広場を日曜日・木曜日に101日開催 延べ参加人数 2820人 (会場:館ヶ丘クリニック)													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	木曜	4	5	4	5	4	4	5	4	3	4	4	4	50
	日曜	4	4	5	4	4	4	4	5	4	4	4	5	51
	参加	214	261	193	289	235	244	235	231	202	219	226	271	2820
	<p>・月2回の専門者(ケアマネジャー・医療ソーシャルワーカー)の相談会を開催。</p> <p>◎介護保険制度の説明および活用方法を個人別に行う</p> <p>◎医療・福祉の相談を個人別に行う(開催日だけではなく、専門電話にも相談あり)</p> <p>ほとんどのケースが継続的に相談を受ける。 相談件数 延べ約150件</p> <p>・講師に依頼を行った行事 3回</p> <p>薬剤師による講演会「薬の効果と副作用」(八王子薬剤センター 渡邊 清司氏)</p> <p>布ぞうり講習会 コットンビーズ 塚本美保子氏</p> <p>腹話術と手品 トモキチ笑劇場 中山トモキチ</p> <p>・日常的に利用者が作った雑巾・編み物・(紙・ガムテープ・お手玉など)はお誕生会のプレゼントや医療機関・被災地へ寄付を行う。(11月の虐待防止月間のプレゼントとして配布も)</p>													



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のコミュニティづくりの推進 お茶の間「民」に参加することにより、地域の方々と交流することができた。特に日頃交流が少ない高齢者と乳幼児とその親が相互に理解し合える場となった。(お茶の間「民」で初めてお隣さん同士が挨拶を交わすことも) ・地域貢献を行う人材の育成(地域人材資源活用) 広場のスタッフは地域住民です。また、昼食時のおかずも地域の方々の手作りで好評。日常的に行っている雑巾作りや編み物といった成果物を寄付するなど社会参画の場を提供し、参加者の社会貢献への意識を向上させることができた。 (地域子ども家庭支援センター館 親子ふれあい広場で雑巾縫いのイベントも) ◎参加者自らが積極的にお茶の間「民」の活動に参加し、手伝うことが増えた。 ・様々な医療や福祉に関する個人の問題を発見し、機関へ繋ぐとともに、寄り添い、支援 地域包括支援センター高尾・地域包括支援センター寺田や地域子ども家庭支援センターといった公共機関との連携を図り、共に情報を共有することで、よりきめ細やかな支援をすることができた。(医療センターの医療相談室やその他医療機関とも連携)
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	①ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	八王子市館地域子ども家庭支援センターと連携し、親子ふれあい広場のイベントを当法人が開催し、法人としての新たな取り組みとなった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

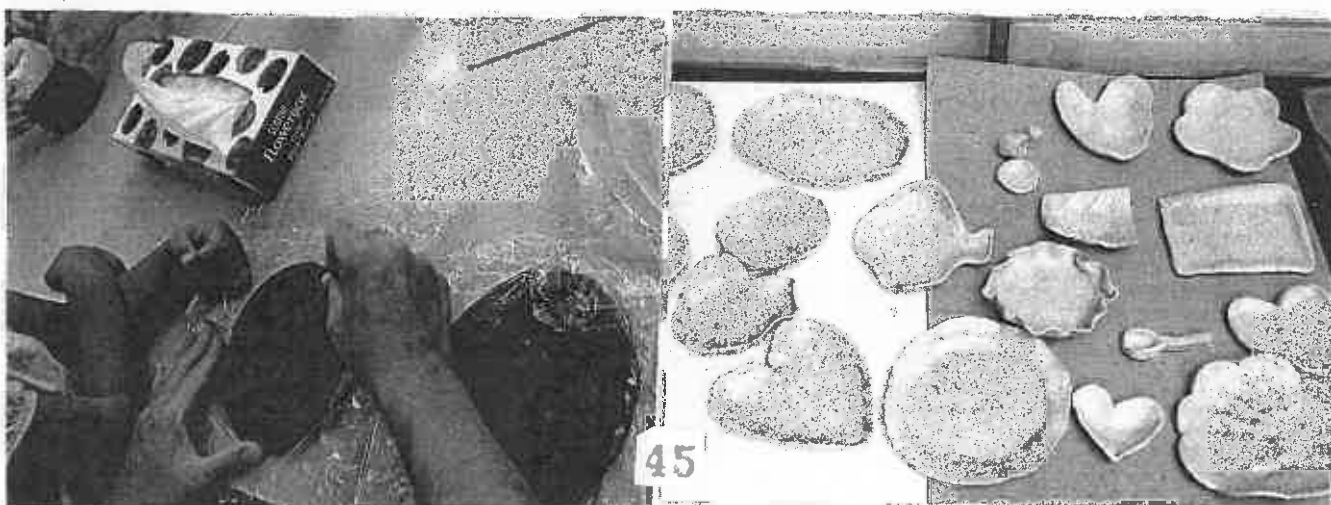
今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・館ヶ丘クリニックの使用が可能な限り、お茶の間「民」としての活動を継続していきます。 ・地域の方々の居場所として、より一層地域の方々の活躍できる場として取り組みを展開します。(ひとり一人が生甲斐となるような役割を見つけることができるよう、無理せず、働きかけます) ・乳幼児の家族が継続的なサークル活動ができるように働きかけを進めます。
---------	---

平成 26 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	親子で楽しむ陶芸教室		
団体名	特定非営利活動法人 発達支援の会—未来		
事業費	133,000円	補助金額	44,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>粘土をこねて作品を作る作業が、子どもたちを楽しませ親子のコミュニケーションに繋がる。誤解を受けやすく、理解されにくい発達障害児とその家族が、親子でゆっくり楽しい時間を過ごして欲しいという目的で企画した。また、この事業を通じて、当会の活動を多くの人に知ってもらいたい。</p>
	<p>内容</p> <p>幼児から小学生までの子供が親子で参加し、講師の指導のもとに粘土にふれ、その心地よさを味わい想像力を養う。</p>

事業の活動実績	<p><第1回> H26. 5. 25</p> <p>参加人数・・・41人 (うち2歳児6人)</p> <p>テニスボールくらいの丸い粘土をめん棒で伸ばして平にしてから、好みのお皿の形を書いて余分な粘土を取り除くという簡単な方法でお皿を作る。</p>
	<p><第2回> H26. 6. 15</p> <p>参加人数・・・42人 (うち2歳児7人)</p> <p>空いたペットボトルを使いマグカップや湯飲み茶碗を作る。</p>
	<p><第3回> H26. 7. 6</p> <p>参加人数・・・43人</p> <p>前回までの経験を応用して、独自のやり方で自分の作りたいものを作る。</p>



業の成果・効果	<p>4回目(補助金事業としては、3回目)を迎えた「親子で楽しむ陶芸教室」は、新たな講師を迎え、裏高尾にある幼稚園を会場にして行った。</p> <p>集まった親子は、小さな椅子に腰かけ肩を並べて座り、講師の説明を聞きながら作品作りに夢中になった。</p> <p>講師の説明と指導はとてもわかりやすく、2歳の子どもから付き添ってきたお爺ちゃんまでが一緒になって粘土の感触を楽しんだ。和やかな雰囲気が気持ちをリラックスさせ、初対面の人との会話もはずむようだった。</p> <p>この事業は、希薄になってきた他者との繋がりを深め、何かと忙しい子育て中のお母さんも、時には心を解放させ親子で楽しく会話しながら、粘土で作品を作るという子どもと共通の目的を持ち、充実したひと時を過ごして欲しいという目的があった。</p> <p>子どもにとって、粘土をこねる作業は手先を刺激し心を安定、解放させる。作り上げた作品が焼きあがる楽しみを味わうこともできる。出来栄はそれほど重要なことではなく、自分が一つの作品を作り上げるという達成感を味わうことで自信につながると考えている。</p> <p>活動資金に乏しいため、市民企画事業補助金をいただいてこの事業を行い、大盛況に終わることができた事に感謝します。</p>
---------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>1回のみ参加者は、500円の参加費にした。 また、参加費が無料の2歳児が多かったため、予算よりも団体運営費からの繰入金が増加した。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>市の広報を見て参加申し込みをした方がいたことで、当会の宣伝にもつながった。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>参加人数を1回に50人にしたところ、定員を超え断らざるを得ない状況になった。</p> <p>陶芸は、幼児から大人まで楽しむことができるため、ニーズが高い企画であると感じている。</p> <p>定着した事業にするには課題がたくさんあるが、継続するために様々な方面から方法を考えたい。</p>
---------	---

平成26年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	高尾山情報サイト「高尾山マガジン」		
団体名	高尾山マガジン編集委員会		
事業費	902,282 円	補助金額	300,000 円

事業の目的・内容	目的 インターネット上での高尾山の情報は、行政や公的機関、関係各社のホームページで行われているが、高尾山には基本的情報のみならず、イベント、飲食店、開花や紅葉などの自然情報、ハイシーズンの混雑、通行止め情報など数多くの情報があり、これらを効果的に提供したいと思い、2011年9月から「高尾山マガジン」を開始した。
	内容 年間300万人の登山客が訪れる高尾山の総合情報サイト「高尾山マガジン」を運営し、登山客に対し有益な情報を提供する。Webサイトのほか、Twitterやfacebookなどのソーシャルメディア(SNS)を利用して、効果的な情報発信を行う。 またあわせて、八王子の観光情報なども発信し、多数の登山客に八王子の魅力も発信する。

事業の活動実績	<p>●Webサイトの充実 昨年度に引き続きH26年度もコンテンツの拡充を行った。新しい企画としては、アウトドアショップと連携して登山の初心者向けにグッズ紹介のページを作成した。</p> <p>●高尾山で働く人のインタビュー H25年度から高尾山で働いたり活動している人へのインタビュー記事を掲載し、様々な魅力を持つ高尾山を普段から山にいる人の視点で紹介している。今年は、公式キャラクター「ムッチちゃん」、東京都レンジャーへのインタビューを行い、合計9本となった。</p> <p>●SNS (facebook・Twitter) で情報を発信 Webサイトのほか、facebookやTwitterでも高尾山のタイムリーな情報を発信しており、H26年度も多くの新規ユーザーにフォローされた。イベント情報や植物の開花状況、混雑情報や積雪時の登山道状況などを発信した。試験的に英語でのfacebookページも開設した。</p> <p>●テレビ局への取材協力 ハイシーズンには多くのテレビ局により高尾山の取材が行われるが、高尾山マガジンにも複数のテレビ局から問い合わせがあった。見どころや紅葉情報などの情報提供を行った。またJCOM八王子の高尾山特集番組には編集委員会メンバーも出演し、高尾山の魅力を伝えた。</p> <p>●ポストカードの制作 高尾山で代表的な植物の写真を使い、ポストカードを6種制作した。</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>●Web サイトへのアクセス数の増加 昨年度に引き続きアクセス数は増加し、概ね前年度の2倍に増加した。H26 年度1年間で532,511 ページビューがあり、1日平均 1459 ページが閲覧されている計算になる。</p> <p>●SNS (facebook・Twitter) での情報発信効果 facebook と Twitter での情報発信は即時性も高く、現在の高尾山の状況を伝える手段として有効で、多くの登山客・観光客に多くフォローされている。Twitter ではフォロワー数が 3,000 を超え、高尾山関連で代表的な存在になっている。facebook ページも約 1,400 のフォロワーがあり、昨年度に比べ2倍になった。これらのツールを用いて今年度も多くの高尾山情報をユーザーに伝えることができた。</p> <p>●アウトドアショップとの連携 今年度の新たな試みとして、アウトドアショップと連携して登山初心者向けにグッズ紹介のページを作成した。昨年度の取材で高尾山では軽装であることによる事故が多いことが分かったので、基本的な装備の取材・使い方の紹介を行った。登山靴やレインウェアなど、5回に分け連載を行い事故防止等の啓蒙を行った。Google 検索でも「登山 レインウェア」などで1位になるなど多くの方に読まれている。</p> <p>●ポストカードの制作 高尾山は有名な観光地であるとともに、希少な植物が多くある自然豊かな山でもある。この面をアピールするため、カメラマンの協力を得て植物のポストカードを6種制作した。高尾山近隣のお店で配布し、高尾山の植物の紹介とともに広報ツールとしても利用している。評判は上々で遠隔地からも入手希望者がいるため、今後、通信販売したいと考えている。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ (2) 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 中心メンバーの仕事や家族の事情で、登山グッズ紹介やインタビューの取材回数が計画より制限されてしまった。その代わりに少人数で運営が可能な SNS の情報発信などに力を入れた。
	その他、評価すべき点等	アクセス数、フォロワー数は順調に増え、高尾山の情報を発信するサイトとして一定の認知はされた。JCOM 八王子の高尾山特集番組でも、高尾山で活動する市民団体という立ち位置で出演させていただいた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>ビジターセンターの改築や、新施設のオープンなど、変化していく高尾山の情報を追って、引き続き情報を発信していきたい。</p> <p>その一方で、活動が少数の中心メンバーに依存しているという課題も今年度見えてきた。今後は収益という面でも任意団体という枠組みから、例えば民間会社の一事業となるなど、活動形態の変更も探していきたい。</p> <p>Web の仕組みも今までの通常の Web ページより SNS などが重視されるなど、変化が起きている。これらのトレンドを踏まえ、コンテンツの発信方法などを考えていく。</p>
---------	--

5 成果報告会 アンケート結果

アンケートの概要

実施日	平成27年6月13日(土) 成果報告会にて
対象	成果報告会に来場された方
内容	各団体の活動や成果報告会等に対するご意見・ご感想
回答数	12名

(1) 各団体へ寄せられた主なご意見・ご感想

事業名	古文書学習普及のためのホームページ立ち上げ	
団体名	学園都市大学古文書研究会	掲載ページ P5

- ・ 自分たちで、ホームページを立ち上げたのは良いと思う。(30代)
- ・ 古文書学習普及もなかなか大変なようですが、頑張ってください。(70代)

事業名	子どもの発達などに関わる悩みや不安の相談	
団体名	なないろカフェ	掲載ページ P7

- ・ 子育て世代なので、もっと早くに知りたかった。楽しそうです。(30代)
- ・ アートセラピーというものを、初めて知りました。小さいお子さんをもつ保護者の不安や悩みを話せる場は、大切だと思います。(30代)
- ・ 知らなかった活動ですが、とても素晴らしいと思いました。子育て支援活動をしている方々と協働すると更なる必要性の高まりがあると思います。(30代)
- ・ 子育て期間中のママは、自分のことが後回しになりがち。ママ同士の共通の作業、趣味を通じたコミュニケーションは、効果があります。これからも是非、続けてください。(40代)
- ・ 子どものために、頑張ってください。親との連携をもっと、とって欲しい。(70代)
- ・ 知らなかった活動ですが、とても素晴らしいと思いました。子育て支援活動をしている方々と、協働すると更なる必要性の高まりがあると思います。(30代)

事業名	妊婦さん・未就園親子のための「シュタイナー・おひさまひろば」	
団体名	シュタイナー・おひさまひろば	掲載ページ P9

- ・ とても楽しそうな会でした。(30代)
- ・ 計画通り活動され、参加者の満足度も高いようなので、素晴らしいと思います。(30代)
- ・ 子育てグループや子育て支援グループがたくさんあり、小さいグループ同士の情報交換の中核にどこかまとめてくれると良いと考えます。より多くの「子育て支援団体」との交流をして「枠にとらわれない、選べる子育て」を伝えていってほしいと思いました。(年代不詳)
- ・ プレゼンの内容が明確・明白でわかりやすかった。(30代)
- ・ はっきりしたプレゼンでとても良かった。シュタイナーの教育方針が良くわかった。(70代)

事業名	八王子ポケットパークプロジェクト	
団体名	特定非営利活動法人 ポケットパーク	掲載ページ P11

- ・ 八王子駅周辺も活気がない中、この活動は少し知る機会がありましたが、まだまだ「商店街の人たち」の活動という印象が強く、学生や一般市民がスタッフとしても参加しやすくなるよう、PRされるとより良いと考えます。素晴らしい発想と活動です。頑張ってください。(年代不詳)
- ・ 学生などのごみ拾いをしたり、空き地を利用し、イベントを行い地域を盛り上げているので、良いと思う。(30代)

事業名	MOA美術館八王子児童作品展	
団体名	MOA美術館八王子児童作品展実行委員会	掲載ページ P13

- ・ 子どもだけでなく、大人も癒される素敵な作品展に、今後も注目したいです。(30代)
- ・ 子どもたちの創作活動を奨励し、美術館に足を運ぶことが少ない市民の方にも、病院、飲食店等に子どもの絵を置いて楽しんで元気にしており素晴らしいと思う。(30代)
- ・ 認知度が高く、参加者の感想も明確で評価が高い。持続的な活動として行っていただきたい。(30代)
- ・ 子どもの絵を町へ、とても良い発想です。しかし、認知はまだですので、この活動を続けていくて欲しいと思いました。(年代不詳)
- ・ 早口で少しわかりづらかった。(内容が)盛りだくさんであったと思う。(70代)

事業名	能を楽しむ会	
団体名	能を楽しむ会	掲載ページ P15

- ・ 伝統芸能である能楽を広める活動は良いと思う。若い人に知ってもらおう工夫がほしい。(30代)
- ・ 街なかで能が見られると、一般市民が認知しやすいと感じました。遺産として子どもたちに伝えてほしいです。(30代)

事業名	「ようこそ中町へ」集客・誘客イベント	
団体名	カフェSUZU ネット	掲載ページ P17

- ・ 八王子市中町の魅力を市民の方に知ってもらえたのは、良かったと思う。(30代)
- ・ まちとの連携が、良いと思いました。中町と関わりのない人の集客はまちの幅を広げるのでとても良いです。(30代)
- ・ この活動を全く知りませんでした。より多くの人を、巻き込んで活動を広げて行ってほしいと思います。そうすることで、「平日」営業にも広がると考えます。家庭の主婦や定年後の人もたくさんいますが、そこには情報が届いていませんので、そのPRも含めて素晴らしい活動を楽しみにしています。(年代不詳)
- ・ もっともっと頑張してほしい。(30代)
- ・ 八王子の全体の活性化に進めて欲しい。(70代)

事業名	子ども表現ワークショップ事業	
団体名	さくらんぼ学園	掲載ページ P19

- ・ 発達障害や不登校の子どもたちへの支援は素晴らしいと思う。(30代)
- ・ かかえているジレンマがとても良く分かり、何とかクリアしてほしい。(30代)
- ・ 子ども達が、どうして不登校になるのか、そこにもう少しスポットをあててもらいたかった。(70代)

事業名	MUSIC BASKET ～障害者・未就学児可の気楽なコンサート～	
団体名	MUSIC BASKET	掲載ページ P21

- ・ 発表が上手かった。本格的なコンサートを行っていると感じた。(30代)
- ・ とても見やすい発表で、これからも続けていただきたい。(30代)
- ・ 障害者・未就学児可は、なかなかコンサートには行けないのが普通だから、大いに良いと思う。(70代)

事業名	生産、加工の容易な地元農産物の普及	
団体名	特定非営利活動法人すまいるカフェ	掲載ページ P23

- ・ 八王子産の農産物を…(以下記載なし)(30代)

事業名	負けない家計になる！ ファイナンシャルプランナーによるセミナー&相談会	
団体名	FPネットはちおうじ	掲載ページ P25

- ・ お金の相談を気軽にできるようにしたり、セミナーの満足度も高いようなので、良いと思う。(30代)

事業名	視覚障害者支援活動と点字の習得	
団体名	竹の子の会	掲載ページ P27

- ・ 健常者は、気づきにくい。(30代)
- ・ 点字等、習得はとても必要と思う。(70代)

事業名	リユース食器レンタル事業	
団体名	一般社団法人リユース食器ひなげし	掲載ページ P29

- ・ 環境面では、評価できる。(30代)
- ・ リユース食器等、もっと広めてもらいたい。(70代)

事業名	八王子市の児童と外国人との交流を通して児童の健全な育成を支援する	
団体名	虹の橋	掲載ページ P31

- ・ 八王子市の子どもと外国人との交流は、子どもたちの育成のうえでも、良いものだと思う。(30代)
- ・ 外国の文化もいいが、まず、日本の文化を教え、それをもって外国の人と文化を交流すべきではなかろうか。(70代)

事業名	たき坊楽市広報活動	
団体名	たき坊楽市	掲載ページ P33

- ・ 八王子のゆるキャラを作り、八王子を盛り上げるための活動は、評価できる。(30代)
- ・ たき坊の出演イベントを通じて、八王子のイベントやお店に目を向けるきっかけになりました。これからも活動、頑張ってください。(年代不詳)
- ・ 商標権の難しさが、わかりました。復帰を楽しみに待っています。(40代)
- ・ キャラクターのフレグランス(香水)の制作は、実に面白いと思う。もっと広くイベントをやってほしい。(70代)

事業名	「聞き書き集－八王子に生きる女たち」(仮題)の刊行	
団体名	八王子女性史サークル	掲載ページ P35

- ・ 八王子の貴重な歴史資料になったと思う。(30代)
- ・ 企画自体が、しっかりしていると思いました。26年度にできて良かったと思います。内容もドキュメンタリー番組や、朝ドラの原作となりうるような、女の一代記で素晴らしいと思います。(40代)
- ・ 大変なご苦労が、あったと思います。(70代)

事業名	第三回シニアが元気になるフェスティバル	
団体名	八王子高齢者活動コーディネーター会	掲載ページ P37

- ・ シニアの経験、知識を地域に活用するきっかけになるので、良いと思う。(30代)
- ・ シニアが教える小中学生の教育教室」は素晴らしい企画であると思います。(70代)
- ・ 「ハコー会」は、カタカナで「ハコー会」に見えてしまいます。「はちコー会」「HACHIコー会」の表記はいかがでしょうか。(40代)
- ・ 高齢化時代にこのような活動は素晴らしいと思いました。(40代)

事業名	屋内譲渡会での猫譲渡と相談会(新しい試み 保護猫カフェ)	
団体名	八王子猫のおうち探しの会	掲載ページ P39

- ・ 動物愛護や猫トラブル対策など、評価できると思う。(30代)
- ・ 是非、続けて欲しい事業です。猫を触って交流できるイベントを是非、企画してください。(40代)
- ・ 生き物を扱っているので、大変だと思います。これからもがんばってください。(70代)

事業名	八王子を互いに知ろうプロジェクト1 ～八王子市東部地域～	
団体名	楽しも！堀之内 実行委員会	掲載ページ P41

- ・ 報告のあった予告編を見ると、本編が見たくなる。(40代)
- ・ 早く、八王子全体をまとめるプロジェクトを持って欲しいと思います。(70代)

事業名	地域多世代交流広場お茶の間「民」事業	
団体名	特定非営利活動法人地域医療・福祉の明日を考える会	掲載ページ P43

- ・ 地域住民のコミュニティづくりの推進をされ、高齢者の孤立を防ぐことにつながり、良いと思う。(30代)
- ・ クリニック施設の休館日を利用するというユニークな発想はとても素晴らしい。もっと充実した輪を広げて欲しい。(70代)

事業名	親子で楽しむ陶芸教室	
団体名	特定非営利活動法人発達支援の会-未来	掲載ページ P45

- ・ 親子で楽しむ陶芸教室は、とても良い事業だと思います。今、親子の絆が希薄になっているので、とにかくこの事は大事だと思う。(70代)

事業名	高尾山情報サイト「高尾山マガジン」	
団体名	高尾山マガジン編集委員会	掲載ページ P47

- ・ 八王子の代表である、高尾山の魅力を効果的に発信している点は、良いと思う。(30代)
- ・ 毎年 300 万人の登山客があるということです。一歩進めて、八王子の地域にもう少しお金を落としてもらえるような情報を加えたらどうかと思う。(70代)

(2) 市民企画事業補助金制度についてのご意見・ご感想

【公益な市民活動に対する市からの補助は必要だと思いますか】

- ・ 必要である（8名） ・ 必要ない（0名） ・ わからない（0名）

【公益的な市民活動に対する市からの支援についてどのような支援があると良いと思いますか】

- ・ 個別の支援だけでなく、連携型支援、テーマ毎の支援があるといい。一団体だけでは力が弱く、内々になることが多いと感じた為。（30代）
- ・ 「場」の提供と全市民への情報。小さい活動も含めて、志の同じ人が結びやすいこと。（年代不詳）
- ・ お金と人材・場所が、多くの団体で悩みとなっています。そのつながりをお手伝いいただきたい。（30代）
- ・ 会場確保への協力（市施設の①先行予約②優先予約）。企画しても、会場抽選に破れ、別の日に実施したり、金額の高い会場にしたり・・・の経験があります。特に10月・11月は激戦。（40代）
- ・ 広報活動。窓口での相談。（50代）

【補助金制度についてのご意見】

- ・ 額が一律でない方が良い。申請により、市の裁量で活動相当額を決めるとモチベーションにつながる。上限設定でも良い。（30代）
- ・ 必要なところに、必要な費用を適切に援助ください。（30代）
- ・ 補助金実施事業の審査が、丁寧になされていると感じました。報告会を聞いても「なぜ、この事業に補助金？」というような疑問のある事業はありませんでした。（40代）

(3) 成果報告会についてのご意見・ご感想

- ・ 審査するような緊張感、先入観があったので、次のアクションにつながる。参加者との対話を重視すると良い。プレゼン大会のような雰囲気づくりがあると関心度が上がる。（30代）
- ・ 年々レベルアップ。プレゼンの仕方が、2～3年前とは違います。発表には、準備が必要です。特に、普段人前でしゃべることの少ない方は、練習をしてくるだけで全然違います。（40代）
- ・ たくさんの団体が、八王子で活発に活動されていることがわかり感動しました。今日の会などもせっかくですから、各グループの交流の場となると、今後の活動に役立つと思います。また、各グループの連絡先一覧があるといいのですが、情報保護の点から難しいでしょうか。担当部署に問い合わせたら教えていただけるのでしょうか。（50代）
- ・ 審査委員長のお話の中で、『八王子ビジョン』の柱（6つ）がありましたが、その中に「八王子の文化・歴史」が入っていないのに驚き、残念に思いました。大変な思いで苦労した事業に対し、簡単でも良いですからそれぞれのグループに一言講評をしてほしかったと思いました。（70代）

6 交付団体連絡先一覧

区分	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
活動支援部門	学園都市大学古文書研究会	中村 和男	長倉 勉	川崎市麻生区栗木台4-8-15	090-7416-2620
	なないろカフェ	佐藤 恵美	佐藤 恵美	八王子市子安町1-41-44	080-1204-5224
	シュタイナー・おひさまひろば	五十嵐 美雪	五十嵐 美雪	八王子市初沢町1227-4 A-1328	042-666-4822
	特定非営利活動法人 ポケットパーク	保(たもつ) 清人	保(たもつ) 清人	八王子市八木町5-2	080-3435-6316
	MOA美術館八王子児童作品展 実行委員会	谷本 広幸	谷本 広幸	八王子市横川町985-32	042-621-3485
	能を楽しむ会	鈴木 矜子 (きょうこ)	鈴木 矜子 (きょうこ)	八王子市打越町346-1-109	042-656-7808
	カフェSUZUネット	村野 昌輝	鈴木 由布子	八王子市並木町2-8-405	090-4675-2778
	さくらんぼ学園	下村 恵里子	下村 健士	八王子市下柵木3-3-1-603	042-673-2017
	MUSIC BASKET	飯野 明日香	飯野 明日香	八王子市丸山町24-2	080-3010-2441
	特定非営利活動法人 すまいるカフェ	高倉 裕香	高倉 裕香	八王子市みつ台2-29-14	042-691-5045
	FPネットはちおうじ	太矢 香苗	太矢 香苗	八王子市万町44-2	042-624-1732
	竹の子の会	大久保 弘子	飯田 順子	日野市日野1085	042-507-8645
	一般社団法人 リユース食器ひなげし	竹内 ひで子	竹内 ひで子	八王子市南大沢5-20-6-701	042-675-2351
	虹の橋	遠藤 澄枝	遠藤 澄枝	八王子市平岡町6-12	042-625-3186
	たき坊楽市	大石 隆	大石 隆	八王子市滝山町2-665	042-691-6263
事業実施部門	八王子女性史サークル	小野 慶子	小口 三恵子	八王子市富士見町35-5	042-642-4096
	八王子高齢者活動 コーディネーター会	渡辺 重男	渡辺 重男	八王子市松木40-13	090-4934-8707
	八王子猫のおうち探しの会	小林 結花	小林 結花	八王子市初沢町1298-5	080-5496-8838
	楽しも！堀之内 実行委員会	吉田 恭子	吉田 恭子	八王子市別所2-1-4F CUORE (クオレ) 堀之内 内	042-670-2236
	特定非営利活動法人 地域医療・福祉の明日を考える会	大倉 民江	浅野 里恵子	八王子市明神町4-13-10	070-5566-5272
	特定非営利活動法人 発達支援の会-未来	坂元 恵子	坂元 恵子	八王子市東浅川町255-7	042-663-6547
	高尾山マガジン編集委員会	滝 将之	滝 将之	八王子市寺田町616-18	042-661-4150

**平成26年度
市民企画事業補助金
成果報告書**



平成27年7月発行

発行 / 八王子市
企画・編集 / 市民活動推進部協働推進課

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号
電話 042-620-7401 FAX 042-626-0253
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp
URL <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/33852/shiminkatudo/index.html>
